

本年も枝高をどうぞよろしくお願ひします

北海道枝幸高等学校長 吉田 勝文

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言いますが、あっという間に新学期を迎える慌ただしさを感じて過ごす3ヶ月になります。

冬休み明けの集会で、生徒のみなさんに長年、多くの人に親しまれ誰もが知っているマンガのピーナッツに登場する「スヌーピー」についての話をしました。スヌーピーが誕生したのは1950年で、今年で69年になります。75カ国で愛され、21言語に訳されています。

なぜ時代や国をこえて愛されているかは、1つ目は、登場するキャラクターが不器用なチャーリー・ブラウン、意地悪なルーシーなど大きく誰かに感情を移入できること。2つ目は、「上を見続けるんだ、それが人生の秘訣さ」と一点、悲しみ、不安、孤独と深いテーマで書かれていることです。

この2点について話したいと思います。

悩める現代人に贈りたいピーナッツは名言の1つとしてこう語っています。チャーリー・ブラウンがスヌーピーに「時々あなたは、どうして犬なんかでいられると思うわ」スヌーピーはチャーリー・ブラウンに「配られたトランプで勝負するしかないのさ。それがどういう意味であれ。」それはどういう意味を表しているのかということと自分の立ち位置を受け入れ、その中でベストを尽くすことが重要だと言うことです。

「3年生は、自分の決まった進路でベストを尽くしてほしいと思います」

「1・2年生は、枝高でベストを尽くして将来に向けて前進してほしいと思います」

2つ目はいかなる問題も逃げ出すほど大きく複雑でもないと言っていることです。人間関係や仕事のプレッシャーに悩む人へ、ライナスが「真っ向からぶつかるのはイヤなのさ」と言っていることです。スヌーピーはその言葉に対して「一番いい解決方法は、問題を避けること」つまり、いかなる問題でも逃げ出すほど大きく複雑でないと言うことです。どうしても解決できない問題に直面したら、時には問題から距離を置くこともいいですよと言うメッセージだと思います。

みなさんも、辛いことがあったら距離を置くことも大切だと思います。そうすると新しいことが見えてくると思います。

どうか、みなさん、今の環境の中で努力して、大きな問題に当たったときは、距離を置いてあせらず、判断し、行動して、その問題を解決していくように努めてください。

生徒のみなさんにこのような話をして終わりました。これからも枝高へのご協力をお願いいたします。



エシカル消費に関する講演会を行いました

平成30年12月14日（金）にエシカル消費に関する講演会を行いました。講師に原田さとみ氏を招き基本的な知識や意義を理解し、日常生活における消費者意識や社会貢献を高めることにつながりました。



エシカル消費とは

消費者が各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら行う消費活動のことです。

第4回社会人教育を実施しました

平成30年12月18日（火）の5・6時間目に3年生を対象として社会人教育を実施しました。講師に北海道科学大学未来デザイン学部・人間社会学科坂井俊文准教授を招き講演とグループワークを行いました。ゲーム形式の演習を通して今後の自分自身の進路について考える機会になりました。



生徒と教師の音楽発表会がありました

12月20日（木）に本校音楽室で、「生徒と教師の音楽発表会」が行われました。日頃の授業の成果を発表する場として、生徒たちが自ら発表会を運営しながら、歌唱や演奏の発表を行いました。

